

夕刊 九月十日發行 本報は毎日発行され、内容は豊富で、読者の興味を引く。

旅中片々七

東京にて 大井川一史

後者に於ては、書家には秋波をおくつて所謂「書

非やして書所謂「書史的家審附」の位を購はふと

研究の大権威者としてのみならず、如き近世描き氣質

翁の價値に蒙るの進色を見れば、全然行き方を異にして

ないが、翁の書夫れ自体は、現今書人の多くは如

單に古代の象形を傳へる以上と軌を一にし「潤規」な

外に余著などは全然認めらるる印行物に統制各種の値

れないと云へり。現や雜を御丁寧に掲げ、官製ハガ

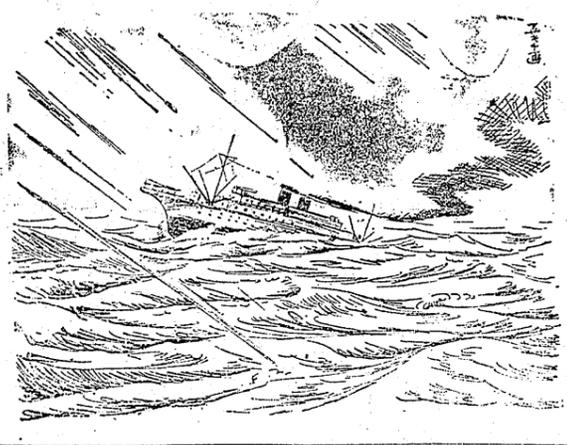
誌書家に於てをや。山田や煙草の如く定價で賣る

氏の年齒幾かに三十有七、といふのが常例である。繪

筆さして行くべき形而下の畫なるものは一定の機能

彼岸あるべきに於てこれを有つた機械生産では勿論論

あゝ…… 夢なれば…… 見しひとなれば…… ことさ



高橋是清 (115) 松浦泉三郎作 秘魯へ (五)

前田の發言通り株主全部が、是清の要求を容れて堅

く盟つた。是清の最後の決心は成つた。明治廿二年十

月廿一日付で、特許局長非職の命を下つた。出發は一

日も猶豫すべきでなかつた。十一月十六日、

和洋 建築 家具 椅子 テーブル 御用命は迅速に御努め致します。

片寄製作店 電話四八四番

吸入用酸素 關内藥局 電話四〇番

自轉車・リヤカー 品質本位と正直な値段

フタバ商會 近頃弊店外交員ト稱シ古物品ヲ新物品ナリ

大幸會社 電話下谷園六七番

阿部石炭商店 電話三七番

桑原柔道整骨院 電話六七四

照山株式平支店 主任常盤光威

諸機械製作販賣 會社名 田邊製作所

石炭 豆炭 コークス

新鱈魚節 穴屋商店 電話四一七番

